

CLOSE UP

ユニークな取り組みや
思い切った挑戦、
そこにある思いを紐解く。



運小屋-hacogoya-の
オリジナルロゴ。



「旅する」と名づけたけど、必ずしも車に載せて旅に出なきゃいけないわけではない。固定観念にとらわれない小屋として、とにかく自由に使ってほしいんです。



フックも移動式。



徳島市入田町のボタニカルショップ「The KANEYA」で開かれたクラフトワークショップの様子。この日は木の家の時計づくりを開催。

使い方はアイデア次第、自由自在! 軽トラで運べる移動式小屋がデビュー

旅する工務店 運小屋-hacogoya-

地元材を活かした「木の家」の新築やリフォームを多く手がける、小松島市の山田工務店。業界の未来を担う若手大工の育成や、木の魅力を子どもたちに伝える木育

活動にも励む。今年4月、箱と小屋を掛け合わせた直方体のプロダクト「運小屋-hacogoya-」が新たにお目見えした。特筆すべきは、軽トラックの荷台に載せて持ち運びが

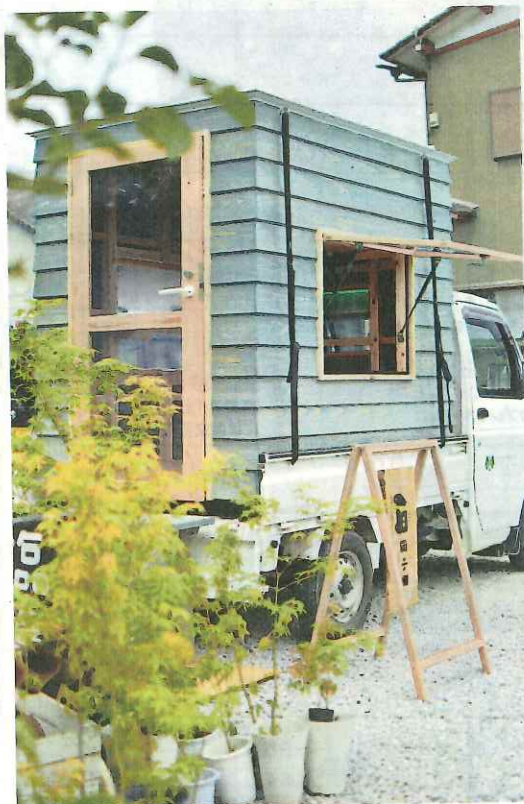
できる「移動式」の小屋ということ! 約200kgのボディの下に耐荷重が大きいキャスターがついており、荷台への積み下ろしは2人で、地面がフラットな場所では女性1人でも動かせる。使い方は発想次第。イベント出店時に店舗として活用し、普段は固定の小屋として自宅の庭先でスイーツや雑貨を販売したり、アトリエや子どもの遊び場になったり、いざという時のための備蓄倉庫や避難場所にした。さまざまな使い方ができる。

材料には県産杉を使用。釘を使わずにパーツを繋ぎ合わせる「木組み」の内観や、利用者が棚の高さを自由に変えられる木のくさび、伝統的な鎧張りで作られた外壁など、大工の技術やふんだんに活かした意匠が施される。完全オーダーメイドのため、小屋の大きさや色、窓の

数、工法などは、使う人の希望に合わせてアレンジ。「小屋の中で調理ができるようにしてほしい」「DIYの余白を残してほしい」といった要望にも対応してくれる。価格は1台90万円〜。注文から最短3カ月ほどで出来上がる。

「まだ始動したばかり。これからいろんな場所に旅してPRしたい」と話すのは、発案者で「旅人」の山田加容子さん(徳島市出身)。「いつか“旅する〇〇”号が増えたら、みんなで集まってイベントを開きたいですね」と夢を語る。試作を兼ねた1号車はイベント出店時に見学可。今後の予定はHPとSNSで確認しよう。また、イベント出店のオファーや「運小屋-hacogoya-」を使って自身の作品などを販売するモニター事業者も募集中。詳細は問合せを。

>>山田工務店
小松島市江田町敷地前79-1
0120-411829
8:00~17:00
日休
Instagram(@haco_goya0251)、
HPあり



試作を兼ねたブルーの1号車は、「旅する工務店」として山田工務店のPRを担う。



広さは約2平米。杉の香りと温もりに満ちる。



くさびを抜き差しして棚の高さを変えられる。